

ニューズレター 2024 年度第2号

日本音楽表現学会 2024 年 11 月 30 日発行

目次

| | | |
|--|------------|----|
| 【巻頭言】 harmonia mundi：世界の調和 | 宮本 賢二郎 | 2 |
| 【随想】演奏家がなぜ研究を行うのか？—第一回助成コンサートの公募に想う—..... | 小川 有紀 | 3 |
| 【会員だより】身体とピアノの競演—フラメンコの場合 | 河原千尋・石場 惇史 | 4 |
| 第 23 回(杜の都：楽興の時)大会発表募集 | | 5 |
| 『音楽表現学』の論文・原稿は Vol.21 より世界に向けて発信されています | | 5 |
| 第 2 回助成コンサートの公募 | | 6 |
| 第 1 回助成コンサートのご案内 | | 8 |
| 後援コンサート等情報 | | 8 |
| 会員による新刊・CD リリース等案内 | | 10 |
| 新入会員紹介 | | 11 |
| 事務局からの重要なお知らせとお願い | | 11 |
| 日本音楽表現学会 組織イメージ | | 15 |
| 日本音楽表現学会第 23 回(杜の都：楽興の時)大会—第 2 次案内— | | 16 |
| 2024 年度役員・委員等一覧 | | 16 |
| 編集後記 | | 16 |

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail：music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円 (2025 年度より 7,000 円)

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 いちざんきゆう 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会

harmonia mundi：世界の調和

宮本 賢二郎（事務局長：指揮）

音楽史を一通り学んだ（学ばなければならなかった）方であれば、harmonia mundi とは、ピタゴラスに端を発し、ルネサンスごろには盛んに唱えられた概念で、ごく簡素化して言えば、音楽や音楽美の中に、宇宙や世界の物理的な仕組みを見出そうとする考え方であったという話を聞いたことがあるのではないのでしょうか。この考えは、音楽とこの世の事象、音楽と人間の関係を捉えようとする思想です。いわば音楽と人間の関係を、音楽が人間にもたらす心理的・身体的な作用を、物理的な法則とも関連させて捉えようとするもので、哲学的、科学的な思想であり、音楽の効果が脳科学的に捉えられるようになった現在からみると、極めて興味深い認知的なアプローチであったと考えられます。

本日はしかし、まったく違う視点、はるか30年以上も前に、私がドイツに留学していたころヨーロッパで見つけた、音楽とは直接的には関係ない「harmonia mundi」についてご紹介したいと思います。

ある時私は、知り合いのワイン専門店の依頼で、ワイン買い付けのためにモーゼル川流域の Winzer（醸造元）と一緒に訪ね、通訳することとなりました。モーゼル川流域の醸造家は、ローマ時代に入植した人々の子孫が多いといえます。夕食ではラテン語で冗談を言い合ったりしていました。実はドイツワインはかつてのローマ時代のワイン文化の一端を残しているのです。

さて、ワインには作柄があり、それは収穫年の日照時間や降雨量と関係します。つまり、良い気候に恵まれた年、例えば1983年、85年のワインは糖度も高く、完成度の高いワインができるため高値で取引されました。しかし涼しい夏の年は、生産量も少なく糖度も乗らないため質も下がるとされるのが一般的です。蔵の中を一緒に歩いていると、醸造マスターが足を止め、作柄の悪い年の瓶を熱心に傾けて中を確認している姿が目にとまりました。何をしているのか尋ねると次のようなことでした。

「こうして瓶をゆっくり傾けると、結晶ができていないか確認することができる。見えるかい？塩のようなものが見えるだろう。これはアミノ酸の結晶で、良いワインができていないことなんだ。この年は特に作柄が悪かったので、ずいぶん丁寧にワインを仕込んだんだ。いいかい、良い作柄の年には誰だって良いワインを作ることができる。しかし、マスターの本当の腕の見せ所は、悪い作柄の年にどのようなワインを残せるかなんだ。一見酸っぱいと思えないぶどうで

も違いがある。リンゴ酸が多いものはだめだ。しかしワイン酸が多いものはこれがやがて年月を経てアミノ酸に変化する。すっぽくても素性のよいぶどうを選び、将来それがどのような味と香りを生み出すか、その数年後のハーモニーを想像しながらワインを仕込むのがマスターの本当の仕事だ。酸味が強いことには、良い点もある。腐敗に強く長く熟成でき、その結果複雑な風味を生み出すことができる。人間も同じさ。」

またある時私は、ドイツの機械式腕時計について通訳する機会がありました。グラスヒütteという、今では超高級腕時計の産地として「知る人ぞ知る」街の時計職人とゆっくり話すことができました。当時はまだ東西ドイツが統合したばかりで、彼は、東ドイツで教育を受けた方でした。厳格で人情深く、精密な議論をする職人氣質の方でした。東ドイツの学校ではしっかりクラシックを学んだが、今の若者はバッハもベートーヴェンもわかっていないと嘆いていたのを思い出します。時計の品質を決めるものとは何か、という話になった時、彼は急に私に時計を渡して、音を聴くように言いました。

「どうだい、澄んだ音がするだろう。君は音楽家だからわかるはずだ、響いていることが。なぜ音が響くのかわかるかい？それはそれぞれの歯車がちょうどよい間隔で、ストレスなくかみ合っているからなんだ。時計の品質とは何か。時計の原点、正確に時を刻み続けるということであれば、もちろんパーツの精密さがまずある。でもどんなに精密なパーツを使っても、組み立てが雑ではだめなんだ。ほら、ここに緩急針（調整レバー）が見えるだろう。これで進みや遅れは調節できる。しかし、組み立てが悪い機械（ムーブメント）をこれだけで調節しても、狂い出したらいきなり大きく狂いだす。それは例えばある歯車にストレスがかかっている状態から、その歯車だけがすり減ったりするといきなりすべてが狂いだすということなんだ。良い時計とは、職人が全ての歯車の役割と状態を把握し、適切な間隔とテンションで組付け、全体に力が分散して、全体で誤差を受け止めるように組み立てられた時計なんだよ。こういうまじめに作られた時計は、年月を経ても狂い方が少ない。“緩急針という指揮者”は必要だけど、時計の奏でる響きは、歯車たちのアンサンブルなんだ」

あれから、いろいろな経験と年月を経て私は、未来の音楽教員を育てる、教員養成に携わるようになりました。日々学生に接し、ともにまなびながら、ドイツで教えてもらったハーモニーを探していきたいと思っています。

演奏家がなぜ研究を行うのか？

— 第一回助成コンサートの公募に思う —

小川有紀 (オルガン・音楽学)

演奏家がなぜ研究を行うのか？理由は色々あろうが、私の場合、作品の持つ力を武器に、自分の演奏で人に感動を与えたいからである。演奏研究に目覚めたのは、留学先のフランスであった。リベラルアーツの精神が根付いた地域にあっては、演奏者が研究することは日常である。コンサートで演奏に説得力があると感心してプログラムを見ると、研究でも名の通った人であった。そんなことが何回か続き、「演奏に研究って大事なのですね」と話すと、私の師は一瞬言葉を飲み、それからゆっくり、「Yukiは良いことに気が付いたね」と答えた。

その師とは、X. ダラス (1934- 92) 氏。卓越したオルガニストであったが、事故で不自由となったため作曲家に転身し、晩年、パリ高等音楽院の学長となった人物である。彼の教えは興味深かった。楽譜を示しながら、「これはフランスの記譜法が流動的であった時代の、独特の書き方だ。厳格に楽譜を再現しなさい」、「この書き方は、もっと自由にやってよい。この作曲家はそれを喜ぶ」など、歴史も踏まえつつ、作曲家目線での解釈法を教えてください。またある時、彼は私に謎かけをした。「ここにはなぜこんな簡単な旋律が書かれているか分かるかい?」。そしてウィークをして自ら回答し、「難しい作品ばかり作っていたら楽譜が売れないからだよ。どんな作曲家だって、食べていかなければならないだろう?」……。

私が師から学んだのは、たとえ偉人であろうとも作曲家は生身の人間であり、秀逸な演奏は、演奏家と作曲家が高い精神レベルで対峙する中で、生まれてくるということ。そして研究は、そこに到達するための近道である。何より気づきや発見は、楽しい!

かつて有名であった J. S. バッハ演奏の一つに、A. シュヴァイツァー博士 (1875-1965) のオルガン録音がある。1952 年のノーベル平和賞の受賞後、彼はバッハ研究家としても広く紹介され、「平和を愛する人の演奏」「これぞバッハ」として、そのレコードは飛躍的に普及した。

シュヴァイツァーの演奏表現は全体的に滑らか、もったりとして、そう詳しくない人でも「これがバロック音楽の演奏?」と、今ならすぐに違和感を持つ。しかし当時のオルガン界は、そう簡単には吹っ切れなかった。なぜならシュヴァイツァーが、パリ高等音楽院教授の C.-M. ヴィドール (1844-1937) に師事していたからである。ヴィドールは、ベルギーの N. レメンス (1823-

81) に師事し、『レガート奏法 Style lié』を尊んだ。そして、レメンスはドイツの A. ヘッセ (1809-63) の弟子との触れ込みでパリに乗り込んだ人物であり、このヘッセこそ、J. S. バッハ直系の弟子の 1 人であった。師匠のお家芸は弟子から弟子に連綿と受け継がれていく。だから「シュヴァイツァーにはバッハ当時の弾き方が伝わったはずだ」と主張する者は、専門家の中に少なくなかった。『レガート奏法』の教育を受けたシュヴァイツァーの演奏に、本当に J. S. バッハ本人の表現が反映されているのだろうか。長らく、答えは出なかった。

ところがシュヴァイツァーの録音から 60 年程経った 1992 年、ある報告がフランスの論文誌に上った。「レメンスは弟子ではない。レメンスは自分の名を利用している」とするヘッセの怒りの手紙が紹介されたのであった。すなわちヴィドールやシュヴァイツァーは J.S. バッハの師弟筋ではない。同様に、『レガート奏法』はフランス独自の表現法であり、ドイツ・バロックに由来しない。この論破により、オルガニスト達は、異なる二つの表現法の接点を無理やり見つけるとの苦勞から解放されて、心置きなくそれぞれの道へと邁進することができた。机上の研究が先導して、演奏家たちの活動の方向を指し示した好例であると言えよう。この背景には、まず J. S. バッハや F. クープランなどの古楽研究と、C. フランクやヴィドール、レメンス、また 19 世紀当時の楽壇の実力者 F. フェティス (1784-1871) などの研究があり、幾度もの見直しがされ、数知れずの先行研究が存在した。

さて、2023 年度、当学会では第一回の助成コンサートの公募が行われて、柚木たまみさんの「ソプラノリサイタル-M. ドラージュの音楽-」が採択となった。ドラージュに惚れ込み、人間像をその手で掴もうとし、ブラッシュアップを続ける姿勢。同じ「研究結果の表出」ではあるが、演奏と論文はその神髄において決定的な違いがある。論文は活字になればその改訂は次の第二版を待つのみである。しかし演奏では世間に表出している間——つまりコンサート本番日、そのステージ上でも——絶え間なく修正は重ねられ、研究は成長をし続ける。その意味においても柚木氏の研究の一角に触れることができたのは、審査側にとって幸いであった。

気が付くと、師が亡くなった齢にさらに年月を重ね、私は生きていた。「Yuki は良いことに気が付いたね」。あの師なら優しく見下ろして、いつかまた私を褒めて下さるに違いない。

身体とピアノの競演—フラメンコの場合

河原 千尋 (ピアノ) ・ 石場 惇史 (身体表現)

長年にわたり開催しているこの「音楽表現のバトル」シリーズは、音楽と身体表現を同じ時間軸で共有してステージで観せることを目指して制作し上演してきました。第一部は毎回河原千尋のピアノ演奏でバッハを聴いてもらいます。そして第二部に踊りを加えバッハの作品と踊り手に相応しい作曲家の音楽を取り上げ踊りと共にステージを創ります。

今回は第6回目となり、フラメンコダンサーとして活躍しているスペイン人のベニート・ガルシアさんを招き、バッハとアルベニスに挑戦しました。

私たちは「ダンスは音楽を形にして観せるものである」と考えております。とはいっても現実には



かかわったダンス～競技ダンス、ジャズダンス、コンテンポラリーダンス、能舞などやはり踊り手が私の演奏する音楽を聴いて寄り添い、できるだけその音楽に忠実に「振り」をつけて合わせる事が主眼でした。音楽に合わせた振り付けを施し、それを何度かリハーサルして観てもらおうといったスタイルです。

しかし今回は大きく異なりました。結果から言えば今回のステージは、フラメンコを踊る、というよりもフラメンコの流儀でバッハやアルベニスの音楽に身体表現(踊り)を加えて表現するといった方がより近い気がします。

演奏家は、作曲家が創った音楽を、楽譜を通して再現するわけですが、ベニートさんはその音楽に合わせて踊るのではなく、音楽そのものを、演奏家と変わらない立ち位置でその作曲家の音楽を取り込み、ピアノと身体表現(踊り)と一緒に表現するのです。

そういえばフラメンコは他のジャンルの踊りと異なり、ダンサー自身が音(リズム)を発します。それは、パルマスであったりサパテアードであったりピトスであったり、さらにカスタ

ニョーラ(パリージョス)を使用したり、他にも音の出る小物を使用します。音を出しリズムを発するという事は、それらが叩き出すリズムは演奏される音楽と一体でなければなりません。

ベニートさんは、楽譜は読めませんが、並外れた記憶力と音楽性でそれを見事にやっつてのけました。彼に言わせれば、スペインで育った子どもの頃から、それは当たり前だったと話してくれました。まず音楽を感じ取り、その音楽を創るギターやカンテからより身近になった音楽で表現する踊りをみて、自分自身が感じたことを表現するスタイルがしっかり身についたとのこと。振りはあるまでその表現の一つの手法にすぎないのです。

バッハやアルベニスの音楽をピアノと踊りで同じ時間軸で二次元と三次元で時空を捉える、敢えていうなら、視覚で聴く、右脳で観る、とたどえてもいいかもしれません。

バッハの音楽は沢山の曲の中から、相応しいと思われるものを何曲かチョイスし実際にベニートさんと確認しながら選びました。

それがイタリア協奏曲の第二楽章です。ベニートさんが捉えた音楽と、私(河原)が感じて捉えた音楽を重ねていき、より深遠なバッハが生まれたことは、これまでにない素晴らしい体験を得ることができたと感じています。確かに楽譜にそのイメージが塗り込まれていたことは確認でき、聴きに来てくれたピアニストの仲間もしっかりとそれを感じとれたと話してくれました。

アルベニスの曲はスペインの原風景を再現するために戸惑っていた私に彼はそのイメージを奥行きのある動きから、そして彼が発する様々な的確でタイトなリズムから私を誘ってくれました。

まだまだ追求することが山ほどあり、表現の多様性と未知なる世界に大いなる野望を抱かせてくれたステージでした。



第23回（杜の都：楽興の時）大会発表募集

第23回大会は、2025年6月21日(土)～22日(日)に宮城教育大学において開催の予定です。24年度の「バックスの宴大会」では学会員による「唄い隊」の〈酒造りの里の唄〉で開幕、他種多様な研究発表で充実の時を持つことができました。第23回大会では「杜の都：楽興の時」のネーミングの下、どんな楽興の一時を持つことができるのでしょうか。多数のお申し込みをお待ちしています。

~~~~~ 記 ~~~~~

**発表概要：**発表形態ア、イ、ウとも研究発表30分と

質疑10分、計40分

**発表申込：**下記様式にしたがって、発表タイトルと発表形態および200～400字の発表要旨等をご記入の上、メールでお申し込みください。複数会員による発表の場合には必ず筆頭発表者が申し込んでください。なお、筆頭発表は学会からの委嘱を除き、一人1件です。

**発表申込資格：**申し込み時点で2024年度までの会費を完納している会員（筆頭以外の共同発表者も会員に限る。また演奏等で参加する会員以外の発表協力者についても参加費は支払うものとする）

**締切：**2025年2月15日(木) 23:59（厳守）

**申込先：**学会事務局

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 宛。

### 【申込書書式】

日本音楽表現学会第23回大会に発表を申し込みます。

2024年度までの年会費は納入済です。  
(冒頭のに納入済の「」を記入してください。)

1. 氏名 \_\_\_\_\_

2. 連絡先〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

3. E-mail \_\_\_\_\_

4. 発表題目 \_\_\_\_\_

5. 発表要旨(200～400字)

6. 発表形態：(該当する記号を記載)

ア) 研究発表(共同発表も含む)

イ) ワークショップ

ウ) デモンストレーション

7. 分科会会場設置使用機器(使用する機器の記号を記載)

a) ピアノ b) プロジェクタとスクリーン

\* CDやDVD等デジタル音源は予めご自身のコンピュータから出力できるよう準備してください。

会場のCDプレーヤーやDVDプレーヤー等の音響機器は使用できません。

## 『音楽表現学』の論文・原稿はVol.21より世界に向けて発信されています

2003年に設立された日本音楽表現学会は2023年には設立20周年を迎えました。それを契機に、『音楽表現学』Vol.21より会員の研究の要旨を海外に向けて発信しています。

人間は、自らの音楽的欲求と発信欲求によって「音楽行動」をしています。「音楽表現」は音楽的な行為の根源であり、具体的な現れでもあります。その上、表現の現れ方、方法は状況や環境によって千差万別です。そんな多様な「音楽表現」に焦点を当て、追求しているのが日本音楽表現学会です。

このような目で世界を広く眺めてみると、音楽表現全般に焦点をあて、「様々な視点と手法で音楽に迫ろう」とする研究団体は実はなかなか見つからないのです。追究のゴール到達は、時間を要するかもしれません。しかし、たとえ途上であろうとも、このユニークな学会の研究の蓄積を世界に向けて発信することは音楽研究、ひいては音楽と音楽文化に貢献できることだと考えます。

最近では様々な学会で「英語で発表」という動向がみられま

す。しかし、論文を英語で作成し発表する以前に、まず会員個人の感性と思索を重視して、それに基づく研究を推進したい。そのためにも、自分自身の言葉で追究し、反芻して練り上げた研究を蓄積したい。その上で、海を越え、空を渡って成果を世界に向けて届けたい、と考えています。

『音楽表現学』掲載論文・原稿の標題はこれまでも欧文で公表されてきました。そのことによって関心と同じくする世界の研究者が『音楽表現学』掲載論文を参考にし、引用することも徐々に増えてきています。この動向をさらに推し進め、『音楽表現学』に掲載された論文タイトルに興味を持った海外の研究者が「英文要旨」「キーワード」に接して要点を知り、アクセスして執筆者との議論が深まり、共同研究に発展することも夢ではありません。

『音楽表現学』Vol.23に投稿をお考えの会員は、このことを念頭に、準備をお進めください。計画の詳細はNL2024-No.3でお知らせします。

## 第2回助成コンサートの公募

「助成コンサート」は学会機関誌『音楽表現学』と並ぶ表現活動部門の助成活動です。  
この事業は、研究に基づいた質の高い音楽活動を推進することを目的としています。  
会員による演奏・創作等の活動を奨励し、音楽表現の深化と発展をめざしています。

助成対象：2025年4月～2026年3月の間に行われる本学会員主催の自主企画音楽公演

応募期間：2024年11月1日(金)～12月15日(日)17:00(必着)

選考結果発表：学会HP、およびNL2024-No.3(2025年3月31日刊行予定)誌上

### 【日本音楽表現学会助成コンサート 募集要項】

- 趣 旨**：音楽表現研究に基づく演奏・創作等の発表の奨励を目的とし、優れたコンサート企画に対して開催資金の助成を行う。
  - 応募資格**：応募者および共同応募者は日本音楽表現学会員に限る。共同応募者も含めて応募する年度までの学会費を納入済みのこと。学会員以外の者の演奏参加等に関しては必要に応じて可とする。申請は1応募につき1公演とする。
  - 助成対象**：日本国内で開催される日本音楽表現学会員主催の自主企画音楽公演。単年度に1組以上。コンサートの形態および開催地域は問わない。
  - 助成金**：助成金は日本音楽表現学会基金から支出し、総額で学会基金の貯蓄高の20分の1を超えないこととする。1件あたり20万円以内とする。採択が発表された後に応募者の指定口座に送金される。
  - 助成対象期間**：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)
  - 申請方法**：日本音楽表現学会ホームページ上に掲載された「助成コンサート申請書様式」をダウンロードし必要事項を記入の上、メールにて送付する。公演の概要および企画意図がわかる参考資料(動画・音源等を含む)を添付すること。**「助成コンサート申請書様式」**次頁及び学会HPをご覧ください。
- **参考資料の提出とその内容について**：  
申請書には、企画における応募者の役割を明記すること。申請書とともに、参考となる動画・音源等を必ず提出すること。動画はプロフェッショナルな録音・録画でなくても良い。楽譜、論述などの印刷物を追加できる。
  - **参考資料の送付について**：  
参考資料はメール添付を基本とし、一本のメールにまとめて送ること。参考資料のデータ・サイズが10MBを超える場合にはデータ転送サービスを利用すること。
  - \* 動画・音源(必須)の送付方法：YouTubeに限定公開でアップロードし、URLを申請書に記載する。動画・音源のタイトルには必ず応募者の姓名を記載し、動画・音源は選考期間の2025年3月31日まで公開とすること。音のみ、画像なしのアップロードも受け付ける。
  - \* YouTubeの他にファイル(WAV、MP3、MP4など)をメール添付しても良い。
  - \* 印刷物(楽譜、論述など)の送付方法：PDFファイルをメールで送付すること(郵送は不可)。
- 応募期間**：2024年11月1日(金)～2024年12月15日(日)17:00 厳守
  - 選考結果**：日本音楽表現学会助成コンサート委員会において選考し、結果を学会ホームページおよびニューズレター2024-No.3(2025年3月31日刊行予定)誌上に掲載する。
  - 採択後の注意事項**：
    - ・助成を受ける者は、チラシ、ポスター、プログラム等に「日本音楽表現学会助成コンサート」であることを明記すること。
    - ・助成対象公演が中止となった場合は速やかに日本音楽表現学会助成コンサート委員会に連絡すること。
    - ・成果報告書をコンサート終了後3ヶ月以内に提出する。成果報告書の形式については採択決定時に通知する。成果報告書には、プログラム等関係印刷物を添付すること。
  - 送り先・問い合わせ先**：music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 以上

日本音楽表現学会助成コンサート申請書

(ワード版を学会 HP に掲載しています)

2024 年 月 日

①代表者の連絡先等

|                  |               |                                        |
|------------------|---------------|----------------------------------------|
| 会員番号             |               | 2024 年度会費 <input type="checkbox"/> 納入済 |
| 氏名               | (姓) ふりがな      | (名) ふりがな                               |
| Name in alphabet | (Family name) | (First name)                           |
| 専門分野             |               |                                        |
| 所属 (ある場合)        |               |                                        |
| 住所               | 〒             |                                        |
| 電話番号             |               |                                        |
| メールアドレス          |               |                                        |
| 共同応募者            | 姓名            | 2024 年度会費 <input type="checkbox"/> 納入済 |

②コンサートの内容

|                             |       |             |
|-----------------------------|-------|-------------|
| コンサート名称                     |       |             |
| 開催予定時期                      | 年 月 日 |             |
| 開催予定会場 (所在地)                |       | 会場の最大収容人数 人 |
| 入場料の有無                      |       |             |
| 編成                          |       |             |
| 出演予定者 (会員には下線を引く)           |       |             |
| プログラム (作曲者・曲名・演奏時間)         |       |             |
| コンサートにおける応募者の役割 (ソロ/演奏パート等) |       |             |
| 収支予算 (簡潔に記入)                | 収入の部  | 支出の部        |

③日本音楽表現学会助成コンサートとしての企画意図

(これまでの研究内容や成果との関連を含めて 2,000 字程度、必要に応じて図表を使用可)

|  |
|--|
|  |
|--|

④企画内容に関連するこれまでの研究 (演奏会、著書、論文、口頭発表等) (年代順に 5 件程度)

|     |  |
|-----|--|
| 年 月 |  |
|-----|--|

⑤提出する参考動画・音源について

|      |  |
|------|--|
| タイトル |  |
| URL  |  |
| 曲目等  |  |
| 出演者等 |  |

⑥その他

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 添付資料 (楽譜・印刷) の概要         |  |
| 他団体からの助成金等 (申請中または予定を含む) |  |
| その他                      |  |

## 第1回助成コンサートのご案内

学会創立20周年を記念して始まった「第1回助成コンサート」。応募された4件のコンサート企画の中から、柚木たままさんの「柚木たままソプラノリサイタル -M. ドラージュの音楽-」が選ばれました。この企画が評価された点は次の2点です。

- フランスにおけるジャポニズムをテーマに、M. ドラージュの音楽の独自性を解明する、という難しい課題に果敢に取り組んでいること
- コンサートにおいて「初演時の再演を試みる」との研究目標が興味深いこと

◎みなさま、ぜひ足をお運びください。

### 柚木たままソプラノリサイタル —モーリス・ドラージュの音楽—

日時：2025年2月16日(日) 15時開演

会場：京都府民ホールアルティ（京都市上京区烏丸通一条下ル）

予定演目：M. ドラージュ 《4つのインドの詩》《7つの俳諧》

《ラ・フォンテーヌの2つの寓話》

C. ドビュッシー 《ペレアスとメリザンド》より  
メリザンドのアリア

M. ラヴェル 《マラルメの3つの詩》《博物誌》より  
抜粋

I. ストラヴィンスキー 《3つの日本の抒情詩》

H. ジル＝マルシェクス 《7つの芸者の唄》より抜粋 他予定

出演者：柚木たまま (Sop.) 新保江美 (Fl.)、他、ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロによる協力出演



## 後援コンサート等情報

河原 千尋さん

音楽表現のバトル VI

日時：2024年10月12日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：所沢市民文化センターミュージズ キューブホール

料金：前売券 3,500 円 / 当日券 4,000 円

出演者：河原千尋 (ピアノ) 他

主な曲目：J.S. バッハ：《イギリス組曲》第3番、グラナドス：  
《アンダルーサ》他

主催：シャトー・メジェール管弦楽団

問合せ先：info@kawaharapf.live

水野 亜歴さん、造座 千晴さん

ダブルテノールコンサート～大中恩 生誕100年を記念して～

日時：2024年10月12日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：アートサロン空

料金：一般 3,000 円 / 学生 2,000 円 (全自由席)

出演者：水野亜歴 (テノール)、造座千晴 (ピアノ)、他

主な曲目：大中 恩：《朝ゆえに》(谷川俊太郎の詩による五  
つの歌)、歌曲集《愛ゆえに》、他

上野 隼さん、河野 久寿さん、斉藤 武さん、藤原 嘉文さん  
山梨の作曲家による『甲州 21 世紀音楽展』～第 4 回作品演奏会～  
日 時：2024 年 10 月 12 日(土) 14:30 開演 (14:00 開場)  
会 場：山梨大学 大村記念ホール (大村智記念学術館内)

<https://omura-museum.yamanashi.ac.jp>

料 金：無 料

出 演 者：池山洋子、上野隼、藤原嘉文(pf.)、宮田知絵(sop.)、  
他

曲 目：上野隼、河野久寿、斉藤武、佐藤晶子、兵藤建希、  
平出新、藤原嘉文、山下久幸の作品 (予定)

趣 旨：山梨大学関係の作曲家 (卒業・修了生及び教員)  
を中心に、同時代の音楽を山梨から発信しよう  
と集まった作曲グループ。今回はその第 4 回作  
品展。

安藤 政輝さん、安藤珠希さん

安藤政輝リサイタル 宮城道雄全作品連続演奏会 25

日 時：2024 年 12 月 8 日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

会 場：紀尾井小ホール

料 金：前売 4,500 円／当日売 5,000 円

出 演 者：安藤政輝、安藤珠希

主な曲目：宮城道雄：《北海民謡調》、《秋の初風》、《三つの  
民謡調》、他昭和 29 年の作品

澤田 まゆみさん

澤田まゆみピアノリサイタル my favorites ～ vol.9

日 時：東京／2025 年 2 月 23 日(日) 14:00 開演

高崎／2025 年 3 月 9 日(日) 14:00 開演

会 場：東京／Salon TESSERA

高崎／高崎芸術劇場 音楽ホール

料 金：4,000 円 (全自由席)

出 演 者：澤田まゆみ (ピアノ)

主な曲目：チャイコフスキー：《悲歌》、プロコフィエフ：《ソナ  
タ第 6 番》、他

問合せ先：新演コンサート Tel. 03-6384-2498

山本奈央さん

スクリャービン コンサートシリーズ Vol.2

日 時：2025 年 3 月 1 日 (土) 18:30 開演 (18:00 開場)

会 場：カワイ表参道 コンサートサロン「パウゼ」

料 金：入場無料 事前予約制 (予約 URL より)

出 演 者：山本奈央 (ピアノ)、他

主な演目：スクリャービン：ピアノ協奏曲嬰へ短調 Op.20、

交響曲第 4 番 Op.54 《法悦の詩》(2 台ピアノ編  
曲版)

趣 旨：ロシアの作曲家・ピアニストであるアレクサンド  
ル・ニコラエヴィチ・スクリャービンの交響曲  
ピアノ編曲版を中心としたコンサートシリーズ。

予 約：下記フォームでお願いします。

URL: [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf\\_  
ndAYSxCNkw8DSYgO1uTutfg0IS5t-x\\_  
XocE2XOgURyAqIQ/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf_ndAYSxCNkw8DSYgO1uTutfg0IS5t-x_XocE2XOgURyAqIQ/viewform)

豊田 典子さん

歌の会★青い星 第 5 回定期演奏会 創立 10 周年記念コンサート  
室内オペラ「新・セロ弾きのゴーシュ」全 3 幕 (初演)

日 時：2025 年 3 月 9 日 (日) 15:00 開演 (14:30 開場)

会 場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

料 金：3,500 円 (全自由席)

出 演 者：豊田典子 (ソプラノ)、他

曲 目：中西 覚：室内オペラ《新・セロ弾きのゴーシュ》

趣 旨：声楽曲の研究団体である歌の会★青い星 (代表  
豊田典子) が、創立 10 周年を記念して、第 5 回  
定期演奏会において、宮沢賢治原作、中西覚脚本・  
作曲の新作室内オペラを上演する。

主 催：歌の会★青い星

高旗 健次さん

ヴァイオリンをもっと知るためのコンサート

— 2 本のヴァイオリンによる二重奏 —

日 時：2025 年 3 月 13 日(木)、19:00 開演 (18:30 開場)

会 場：東広島芸術文化ホールくらら小ホール (東広島市

料 金：一般 3,000 円／学生 1,500 円

(当日販売は 500 円増し・学生は大学院生以下、  
現職教員は除く)

出 演 者：高旗健次 (ヴァイオリン)、他

主な曲目：ハルヴォルセン (ハイフェッツ編)：《パッサカリ  
ア》、イザイ：《アミティエ》作品 26、他

主 催：広島大学大学院人間社会科学部研究科音楽文化教育  
学領域弦楽研究室

問合せ先：kent-violin@hiroshima-u.ac.jp Tel./Fax. 082-  
424-6831

上野 隼さん

シャトー・メジエール管弦楽団 第2回定期公演

日 時：2025年3月15日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会 場：YCC 県民文化ホール 大ホール (甲府市)

料 金：1,000 円 (小学生以下無料)

出 演 者：上野 隼、他

主な曲目：ドヴォルザーク：交響曲第9番《新世界より》、

ヤナーチェク：シンフォニエッタ

主 催：シャトー・メジエール管弦楽団

問合せ先：shamekan0212@gmail.com (事務局)

二宮英美歌さん

二宮英美歌ピアノリサイタルシリーズ 2025

「Night Concert ～月の光～」

日 時：2025年3月4日(火) 19:30 開演

会 場：豊洲シビックセンターホール (5F)

料 金：2,000 円 (全自由席)

出 演 者：二宮英美歌、他

主な曲目：パルムグレン：《月の光》、山田耕筰：哀詩《荒城

の月》を主題とする変奏曲、他

白石朝子さん 釘宮貴子さん

レクチャー・コンサート

『音楽のジャポニスム—和歌と俳句の美の調べ』

日 時：2025年3月23日(日) 開演 13:30

会 場：愛知県芸術劇場小ホール (愛知芸術文化センター

地下1階)

料 金：入場無料 (要申し込み)

出 演 者：釘宮貴子、白石朝子

主な曲目：ワインガルトナー：《日本の細密画》、ジル＝マル

シェックス：《7つの芸者の歌》

問合せ先：愛知県芸術劇場小ホール Tel. 052-971-5511

japonism323@gmail.com

深井尚子さん・二宮英美歌さん

深井尚子・二宮英美歌 ピアノデュオリサイタル Vol.7

日 時：2025年3月23日(日) 開演:14:30 (開場:14:00)

会 場：ベヒシュタインセントラム東京ザール (日比谷)

料 金：4000 円 (全自由席)

出 演 者：深井尚子・二宮英美歌

主な曲目：ポロディン：《韃靼人の踊り》、ベートーヴェン：

交響曲第6番へ長調 Op.68《田園》

## 会員による新刊・CDリリース等案内

笹野 恵理子さん・杉田 政夫さん・榎下 達也さん・他 共著

『学校音楽文化論

一人・モノ・制度の諸相からコンテクストを探る—』

【出 版 社】東信堂

【判型・頁数】A5判、368頁

【発行年月日】2024年2月28日

【定 価】4,950円 (税込み)

【ISBN code】978-4-7989-1894-5

岡 ひろみさん

『特別支援学校の音楽づくり』

【出 版 社】クリエイツかもがわ

【判型・頁数】A4判、102頁

【発行年月日】2024年9月15日

【定 価】本体2000円+税

【ISBN code】978-4-86342-375-6

岡林 典子さん

『子どもの音楽的素地を育むために

—日本語と協同性に着目したプログラムの開発—』

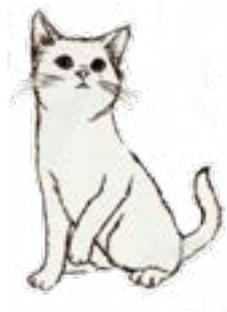
【出 版 社】一藝社

【判型・頁数】A5判 / 238頁

【発行年月日】2024年3月29日

【定 価】本体4,100円+税

【ISBN code】987-4-86359-284-1



# 新入会員紹介

個人情報に付き削除しています。

## 事務局からの重要なお知らせとお願い



### 年会費の改訂について

2024年6月22日に開かれた2024年度総会において、年会費の改訂が決定しました。2025年度より正会員の年会費を5,000円から7,000円になります。2024年度までの会費を未納分については5,000円です。お間違いのないようお振込みください。なお、学生会員の年会費3,000円については変更ありません。

### 1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までをお願いします。

学会は皆さま方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動全体に支障をきたします。また、年会費納入は、学会の各種活動に参加するための条件とされています。年会費納入が例年、年度当初（4月）に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」（ATMご利用の場合は「ご利用明細票」）に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：

年会費納入方法の合理化のために、「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

年会費納入方法：A) 郵便局からの振込（払込取扱票を利用）

（記号一番号）01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

B) 他行等からの振込（店名 - 口座番号）

店名 一三九 (139) 店 預金種目：当座 口座番号 :0078225

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」（ATMご利用の場合は「ご利用明細票」）を領収書として保管ください。大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度

学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから「年会費減免願」書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

## 2. 住所等、会員情報の変更 HP をご覧の上、事務局までメールでご連絡ください

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせさせて再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

変更届はかならず事務局宛にお願いします。 <http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>  
変更のお届けを事務局で受け取りましたら、「受け取りました」の返信をお送りします。返信が届かない場合は、お手数ですが、確認のため再送くださるようお願いいたします。

## 3. 学会員の研究サポート制度

### (1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、前年度末までに会員資格を取得し、当該機関紙発行年度の年会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は毎月5月15日24:00です。

### (2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。詳しくは本ニューズレター p.5 をご覧ください。〆切期日は厳守です。

大会発表応募〆切は毎回2月15日24:00です。

### (3) 第2回「助成コンサート」への応募

会員による「日本音楽表現学会助成コンサート」は、演奏・創作等の発表を助成することによって会員の音楽表現活動を奨励し、音楽表現の深化と発展をめざすことを趣旨としており、現在、公募中です。本紙の p.6-7 掲載の公募概要をお読みください。会員のみみなさまのご応募をお待ちいたします。

## 4. 会員への情報公開

### (1) ニューズレターへの投稿

ニューズレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

[music-expression@music-expression.sakura.ne.jp](mailto:music-expression@music-expression.sakura.ne.jp)

### (2) コンサート等の後援・協賛

学会 HP より [コンサート等後援/協賛申請フォーム] をダウンロードして、必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください (各項目は1行39字以内を原則とします)。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP 及びニューズレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が1週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

### (3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニューズレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など
- ・CD, DVD の項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

## 5. 学会発刊の書籍等の販売について

### (1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

| Vol. | 会員価格（1部）  | 一般価格（1部）  |
|------|-----------|-----------|
| 1～3  | 2,500円+送料 | 3,000円+送料 |
| 4～14 | 3,000円+送料 | 3,500円+送料 |
| 15以降 | 2,500円+送料 | 3,000円+送料 |

### (2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中

メール等で事務局までお申し込みください。

会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000円（正価×0.9 - α、税込・送料込み）

一般価格：3,456円（税抜3,200円）

なお、『音楽表現学のフィールド1』は現在絶版です。購入希望にお応えできなくて残念です。

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。  
氏名：\_\_\_\_\_  
部数：\_\_\_\_\_  
送付先：\_\_\_\_\_  
連絡用E-mail：\_\_\_\_\_

### (3) 『音楽表現論文執筆のしおり』好評につき増刷発売中

ご自分の原稿作成の指針となるだけでなく、卒論・修論・博論指導に必携の「しおり」として、研究室に備えたいという希望が数多くあります。このような声に応えるために、会員メンバーには1部400円（+送料）纏めてお送りしています。ご希望の方は事務局までお申し込みください。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

[購入申込書]

『音楽表現論文執筆のしおり』の購入を申し込みます。  
氏名：\_\_\_\_\_  
部数：\_\_\_\_\_  
送付先：\_\_\_\_\_  
連絡用E-mail：\_\_\_\_\_

会員価格：400円（+送料）

一般価格：500円（+送料）

## 6. 入会手続きについて

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。

- ①入会申込書はHPからダウンロードし、メールで事務局にお届け下さい。
- ②事務局から必要な手続きについて連絡が届きます。その連絡に沿って手続きをお進めください。
- ③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。
  - ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
  - ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

## 7. 退会手続きについて

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードして必要項目をご記入の上、メールで事務局にご提出下さい。
- ② 退会の必要条件「その年度までの年会費を完納」を満たしているかどうか、ご確認ください。
- ③ 手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。

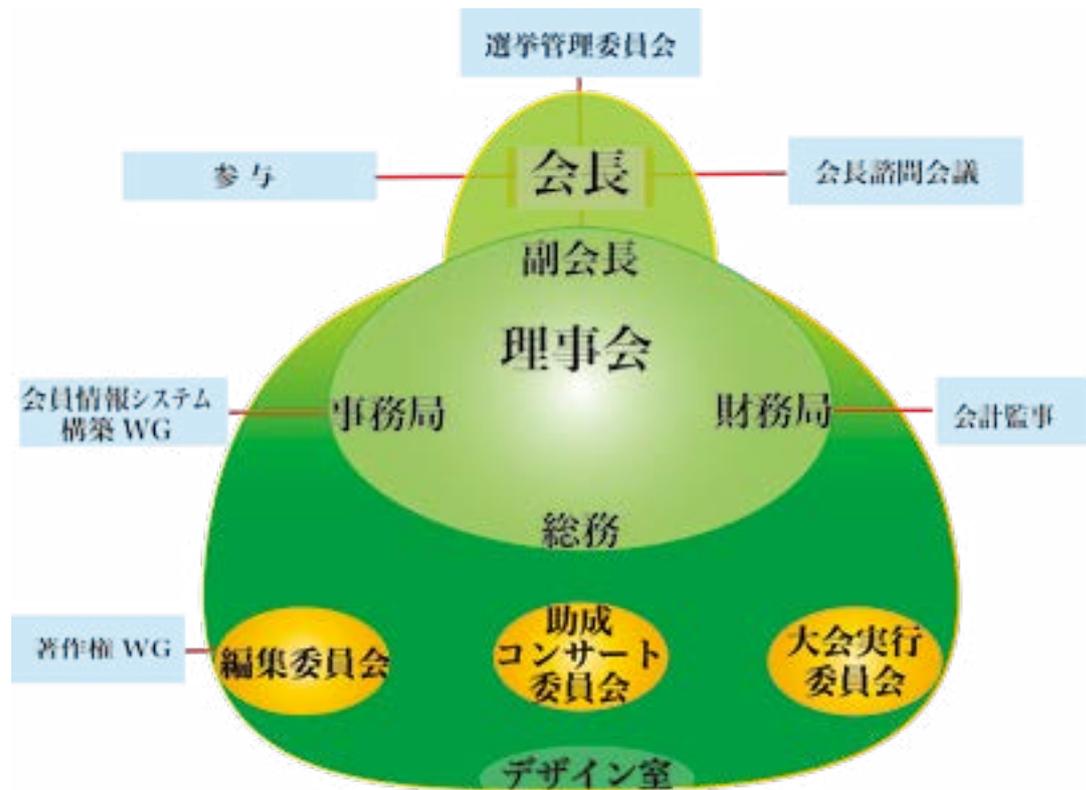
## 8. 財務局等担当理事の変更について

この度、小川有紀理事から一身上の都合による役職辞退願が提出され、理事会で承認されました。これまでの様々な担当作業に対して感謝すると共に、今後は次頁の「役員・委員等一覧表」にあるように現在の体制内で協力・補完し合って進めていくことになりました。みなさま、ご了承ください。

学会事務局 E-mail : [music-expression@music-expression.sakura.ne.jp](mailto:music-expression@music-expression.sakura.ne.jp)  
<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>



# 日本音楽表現学会 組織イメージ



## 各部局・分掌の主な任務

### 副会長

- ・会長の補佐
- ・事務局提案事項のサポート
- ・学会 HP（管理・更新の指示）  
財務局連絡等

### 事務局—学会事務と記録

- ・名簿管理
- ・外部からの連絡受付と対応
- ・運営に関わる諸事万端
- ・委員会⇔理事会連絡
- ・年間スケジュール作成

### 財務局

- ・年会費納入等学会収入・支出に関わる会計業務
- ・学会経費に関わる計画と進行
- ・大会に関する会計業務  
(実行委員会との協力関係において)

### 総務

- ・会則等の起案・改正提案
- ・NL（執筆依頼、編集・校正、編集後記執筆）
- ・会長・理事選挙（選挙人名簿作成と公示）の総括

### 会計監事

- ・財務の監査（偶数年委嘱）

### デザイン室

- ・学会発信物（機関誌・NL・HP等）の編集（偶数年委嘱・再任可）

### 選挙管理委員会

- ・会長・理事選挙の管理運営（奇数年委嘱）

### 参与

- ・学会運営に関するアドバイス（偶数年委嘱）

### 会長諮問会議

- ・会長の相談役・運営のサポート（偶数年委嘱）

### 編集委員会

- ・『音楽表現学』募集・採択・発刊（奇数年委嘱）

### 助成コンサート委員会

- ・「助成コンサート」公募・採択および実施のサポート（奇数年委嘱）

### 大会実行委員会

- ・年次大会に関する発案と実施（実行年度ごと）

### 会員情報システム構築WG

- ・会員名簿作成・発刊・公開に関わる作業（任期を定めず）

### 著作権WG

- ・著作権関係情報の提供と検討（任期を定めず）

参事：デザイン室、HP、J-STAGE を各1名で担当

スタッフ：事務局・D室と財務局に各1名、HPはデザイン室兼務

## 日本音楽表現学会第23回（杜の都：楽興の時）大会—第2次案内—

会 場：宮城教育大学青葉山キャンパス  
〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉149

発表申込〆切：2025年2月15日(土) 24:00 厳守  
多数の申し込みをお待ちしています。

会 期：2025年6月21日(土)・22日(日)

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

愛 称：杜の都：楽興の時

アクセス：

### ①仙台駅まで



### ②JR仙台駅から

仙台市営地下鉄東西線「八木山動物公園」行「青葉山」駅  
下車（9分）「北1出口」から徒歩約9分（650m）

### 実行委員会

委員長：渡会 純一（東北福祉大学）

事務局長：原田 博之（宮城教育大学）

委員：石原 慎司（秋田大学）

小山 和彦（宮城学院女子大学）

佐藤 和貴（高崎健康福祉大学）

橋本 智明（仙台大学）

日比野裕幸（宮城教育大学）

水戸 博道（明治学院大学）

渡辺 修身（山形大学）

### 2024年度役員・委員等一覧

|                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>会 長：藤原 嘉文<br/>副 会 長：石原 慎司、<br/>吉田 秀文(兼)財務局担当)<br/>事 務 局 長：宮本賢二郎<br/>財 務 局 長：三島 郁<br/>理 事：豊田 典子(事務局担当)<br/>大竹 紀子(総務担当)<br/>深井 尚子(総務担当)<br/>監事：橋本 智明 内山 尚美<br/>会長諮問会議：<br/>安藤 政輝 小西 潤子<br/>後藤 丹 佐々木正利<br/>参与：小野 亮祐 杉江 淑子<br/>中村 隆夫<br/>デザイン室室長：奥 忍</p> | <p>編集委員会：<br/>委員長 小川 容子<br/>副委員長 尾見 敦子<br/>委員 稲木 真司 酒井 勇也<br/>曾田 裕司 田中 宏明<br/>田中 昌司 中畑 淳<br/>助成コンサート委員会：<br/>副委員長 大竹 紀子<br/>委員 小島 千か 寺内 大輔<br/>長谷川正規 吉田 秀文<br/>著作権ワーキング：<br/>代表 福本 康之<br/>委員 近藤 晶子 酒井 勇也<br/>高橋 豊</p> | <p>会員情報管理システム構築ワーキング：<br/>代表 小野 亮祐<br/>委員 杉江 淑子 寺内 大輔<br/>豊田 典子 三島 郁<br/>宮本賢二郎 渡会 純一<br/>選挙管理委員会：<br/>委員長 牛渡 克之<br/>岡 ひろみ 佐藤 薫<br/>参事：(HP) 近藤 晶子<br/>(News Letter) 中村 公俊<br/>(J-STAGE) 長山 弘<br/>(庶務) 似内裕美子 松井 萌<br/>スタッフ<br/>(事務局・D室) 坪田 晋輔<br/>(財務) 森山 貴子</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 編集後記

常々感じていることですが、本学会のニューズレターでは、論文誌とは異なる意味で心を豊かにしてくれる文章に出会うことができます。今回も宮本氏の「巻頭言」でドイツのワインと時計づくりに一つの宇宙を聴き、小川氏の「随想」ではフランスの師と演奏研究についての深く温かい関係に触れ、河原氏・石場氏の「会員だより」からはスペインのダンサーとピアノ演奏の「競演」への熱い想いを感じ取ることができました。第23回大会の愛称も決まりました。杜の都でお会いできれば、皆様それぞれの心の中にしまっている思い出や、音楽表現への志について語り合う良い機会となるのではないのでしょうか。  
(大竹紀子)